

平成17年度環境報告書

近江鍛工株式会社

環境保全の歩み

- 1977年 大津市と公害防止協定締結
- 1981年 廃棄物収集処理の業者委託開始
- 1997年 社団法人滋賀県環境保全協会入会
- 1999年 環境マネジメント・システム構築に向けキックオフ
- 2000年 近江鍛工環境方針制定
滋賀グリーン購入ネットワーク入会
- 2001年 ISO14001 認証取得（認証機関：JQA）
認証番号：JQA-EM1346
大津市と環境保全協定締結
滋賀工業会・環境ISO研究会開催（25社参加）
- 2002年 大気環境負荷低減計画策定
- 2003年 美しい湖国をつくる会の県下一斉清掃運動に協賛・参加
廃棄物再生利用等情報制度（滋賀県環境事業公社）の活用
事務所内に喫煙コーナー（分煙機導入）設置、コーナー以外
では事務所内の喫煙全面禁止
- 2004年 関西エコオフィス宣言 「滋賀チャレンジオフィス」に賛同、
取り組む。
高性能工業炉化省エネルギー事業に取り組む。

環境理念

環境優先の理念をもって、自然環境と社会と人に優しい事業活動と環境作りに努め、環境保全の充実による豊かな企業を目指します。

環境方針

当社は、自社の活動を通し省資源、廃棄物の削減、騒音・振動・大気汚染の予防等に努め、継続的に改善することを約束します。
環境関係法規制、協定等を遵守します。
定常業務、非定常業務、及び事故等の緊急時でも地域社会に迷惑を掛けない様汚染防止を徹底して行います。
環境目的・目標を定め、年1回及び必要に応じて見直しを行い環境マネジメントシステムを確実に推進します。
全従業員が基本的な考え方を認識し、環境理念に沿った行動をする様教育を実施します。
当社は、環境理念・基本方針を要求に応じ公表します。

会社環境目的・目標

平成17年度の会社環境目的・目標を下記の通り定め、取り組みました。

騒音・振動の規制（規定値内にキープ）

加熱炉・熱処理炉に使用するLPG管理（5%以上削減）

電力消費の削減（5%以上削減）

油圧機器の管理、その他乗用車・トラック・フォークリフトの管理（5%以上削減）

廃棄物（不適合品、切り粉、ウェス他一般）削減への取組（15%以上削減）

緊急時：LPGタンク及び加熱炉からのガス漏れ防止
：機械設備及び水槽からの油の流出防止

目標展開実施結果

取組の結果は、残念ながら下記の通りとなりましたが、引続き全項目の目標達成に向け取組強化を図っていく所存です。

騒音・振動とも規制値以下に抑制

LPG使用削減：目標値 92.3kg/t 結果 93.0 kg/t 削減率 -0.7%

電力消費の削減： " 212.8 kw/t " 212.8kw/t " 0%

作動油の使用料： " 2,400lt/月 " 3,533 lt/t " -47%

リフトの燃費： " 2.10lt/t " 2.15 lt/t " -2.3%

廃棄物の削減等：パレット、事務用紙等のリサイクル化に努めました。

環境会計報告

環境省のガイドラインを参考にして作成しています。

（単位千円）

環境保全コスト				
分類	主な取組内容		投資額	費用額
(1)事業エリア内コスト	公害防止	煤煙、排水、騒音、振動等測定費用		2,692
	地球環境保全	より効率の良い炉に修理、改造、新設	190,915	9,430
	資源循環	板パレット修理、古紙・煉瓦、廃油等処理		17,133
(2)上・下流コスト	グリーン購入ネットワーク会費			10
(3)管理活動コスト	ISO審査、登録維持費、社員教育費			1,567
(4)研究開発コスト				
(5)社会活動コスト	保全協会等会費			90
(6)環境損傷対応コスト				
コスト計			190,915	30,922

環境保全対策に伴う経済効果		
内容		金額
(1)省エネによる費用節減	電力費及びLPG燃料費削減	32,529
(2)有価物売却益	ダライ粉売却	25,228
(3)廃棄物削減取組効果	スクラップ売却	21,316
効果計		79,073

(ご参考)

1. 排水測定結果

工場内からの排水は、雨水のみの排水になっていますが、土及び油類等の流出を防ぐために、排水口に油水分離構造の水槽を設置しています。

測定日：平成17年10月5日 測定場所：排水口手前の分離槽

項目	単位	法令基準	測定値	判定
水素イオン濃度 (pH)	at 20	6.0~8.5	7.8	
生物学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	60	5.0	
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	60	14.0	
浮遊物質 (SS)	mg/L	60	18.0	
n-ヘキサン抽出物質 (油分)	mg/L	5	2.4	

基準値にはまだ余裕がありますが、n-ヘキサン抽出物質が基準値の半分まで上昇したので、3月に工場内の溝と分離槽の清掃を実施しました。

その結果、4月26日の測定値では、< 0.5以下に低下しました。

測定日：平成18年4月26日 測定場所：排水口手前の分離槽

項目	単位	法令基準	測定値	判定
水素イオン濃度 (pH)	at 20	6.0~8.5	7.6	
生物学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	60	4.4	
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	60	16.0	
浮遊物質 (SS)	mg/L	60	2.0	
n-ヘキサン抽出物質 (油分)	mg/L	5	<0.5	

2. 排ガス測定結果

昨年まで通常タイプの炉の排ガス測定を実施していましたが、今年から省エネタイプ (約30%排ガス量削減タイプ) の新しい燃焼方式での測定を実施しました。

測定日：平成18年1月12日

測定場所：R-1 5000炉 (省エネタイプ)

項目	単位	法令基準	測定値	判定
煤塵 (ダスト)	g/m ³ N	0.20	<0.01	
硫黄酸化物 (SO _x)	m ³ N/h	0.85	<0.02	
窒素酸化物 (NO _x)	cm ³ /m ³ N	140	120	

以上